

頑張れば何とかなる



ダニエル・オドランド

何十年前、フィリピンでジナ
という女の子がいました。

びんぼう のうか
貧乏な農家の娘でした。

貧乏だからこそ頑張りました
。頑張れば、何とかなると強
く信じていましたから。



八歳ぐらいの時、母が亡く
そふぼ
なりました。祖父母
ひっこ
の家に引っ越しま
したが、父は家族
るす
といるより留守の 方が
多かったです。だから食べら
のうぎょう
れるように農業を頑張りました。
た。



学校が家から遠く離れていても、毎朝村の子どもたちと歩きました。教育でもっと楽な生活ができると分かっていたから。

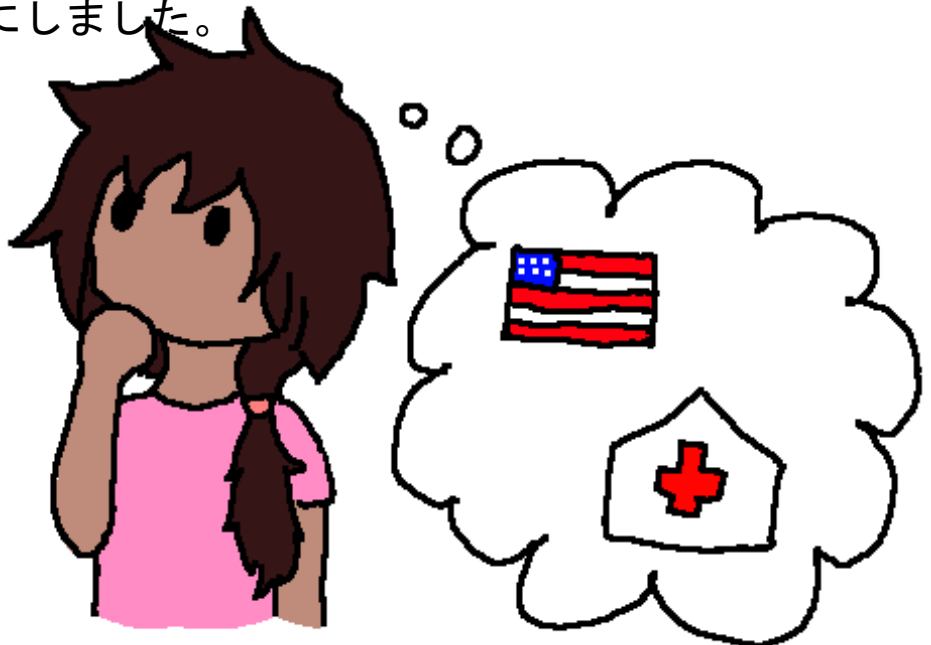
しんがく

ちよきん

そして進学の時がきました。アルバイトで貯金して

かんごし

いました。アメリカで看護師になりたいくて、そこで勉強することにしました。

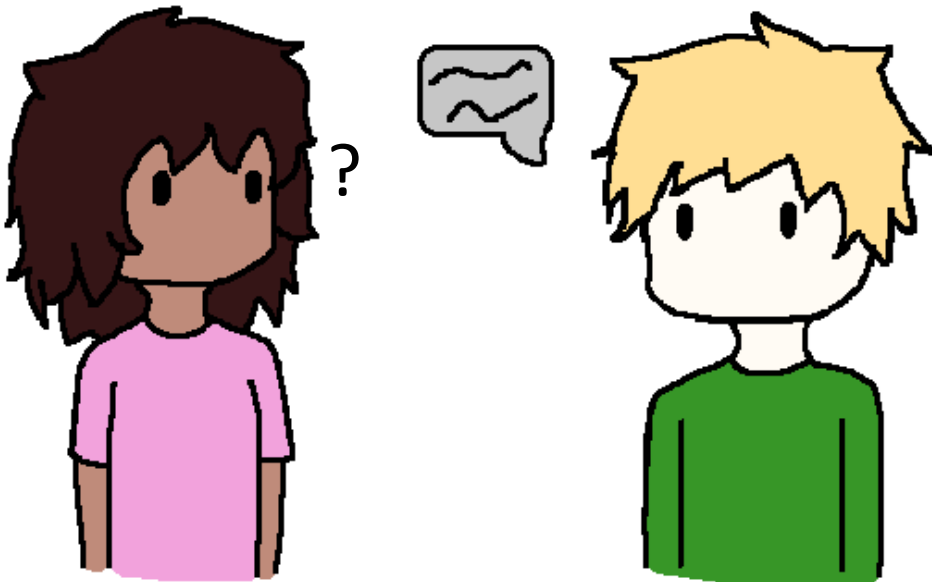


アメリカに着くと、夜の街
がまだ電気で光っているこ
とがすごいと思いました。
この一人旅で、誰もが助け
てくれたりしないことを知
っていました。だからこれ
からもっと頑張らなくては
いけません。



学校でずっと英語を勉強したのに、周りの人のいうことが分かり
にくかったです。だから、英語の勉強をやり直しました。

なお



じゅぎょうりょう

授業料はすごく高か
ったです。だから色
々なアルバイトをし
ました。



先生に「あなたが卒業
なんて出来ないよ」と
言われました。だが、
自分を信じて、^{さら}更に勉
強を頑張りました。



そして、^{どりよく}努力でやっと卒業に
^{かんごし}たどり着きました。看護師に
なります。



^{まず}フィリピンで貧しい子どもの時
からもう三十年以上経っていま
す。今はずっと楽な生活が出来
ます。思い出すと、努力の全部
^{むく}が報われたことがちゃんと分か
^どります。今、いつも子どもに努
^{りよく}力の大切さを教えてあげます。